



キエンブリッジ The Kien Bridge



The Kien Bridge は、ベトナム社会主義共和国の首都ハノイ市東方約 100km に位置するベトナム第 4 の都市ハイフォン市西部に架橋される 3 径間連続 PC 斜張橋です。本橋はベトナム北東部を南北に走る国道 10 号線の改良工事の一環として、JBIC (国際協力銀行) からの有償援助により建設されています。

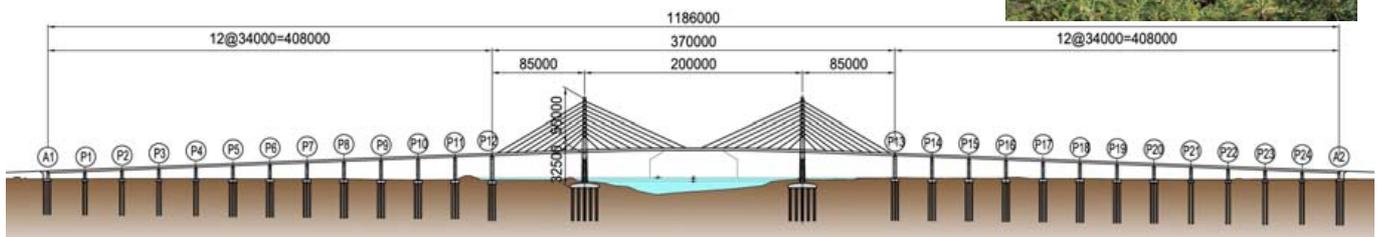
本橋の主桁は全幅 16.7m の 3 室箱桁構造で、ベトナムでは初のプレキャストセグメント構造を採用しています。セグメントはショートラインマッチキャスト方式により製作され、架設はエレクションノーズによる張出し架設工法を採用しています。

本プロジェクトはベトナム初のプレキャストセグメント架設工法による PC 斜張橋で、日越の共同企業体により建設が進められている大規模橋梁建設工事です。このため施主からの強い意向に基づき、施工に関する計画段階から実施に至る様々な面でベトナム人に技術指導を行い、ベトナムにおける橋梁建設技術の向上に寄与しています。

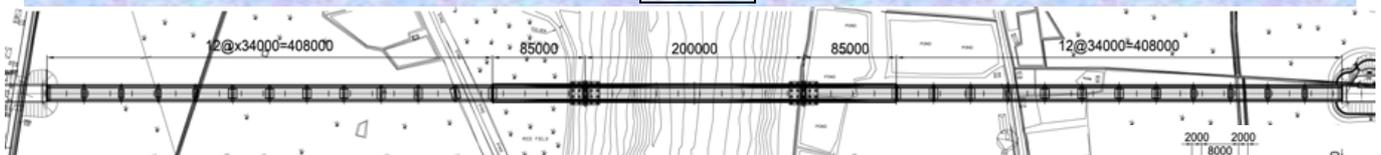


一般図

側面図



平面図



橋梁諸元

- 工事名 : National Highway No. 10 - Package B5 - KIEN BRIDGE PROJECT
- 発注者 : ベトナム社会主義共和国、MOT (交通省)、PMU18 (第 18 管理局)
- 設計者 : 日本工営(株), TEDI
- 位置 : ベトナム社会主義共和国ハイフォン市
- 形式 : (主橋) 3 径間連続 PC 斜張橋
(アプローチ橋) 4 径間連結合成桁橋
- 活荷重 : HS-20 (AASHTO)
- 橋長 : (主橋) 370m (85m+200m+85m)
(アプローチ橋) 408m × 2
- 総幅員 : 16.7m (有効幅員 車道部 10.5m 歩道部 1.5m × 2)
- 架設工法 : (主橋) プレキャストセグメント張出し架設工法
- PC 鋼材 : 斜材 : 37 ~ 48S15.2 (VSL 工法)
主桁架設鋼材 : SBPR930/1180 32mm (DW 工法)
主桁内ケーブル : 12S15.2 (VSL 工法)
主桁外ケーブル : 19S15.2 (VSL 工法)
斜材定着部横締鋼材 : 12S15.2 (VSL 工法)

断面図

